

WCS用イネ品種「たちすずか」の栽培に適した水管理方法

利用対象：耕種農家、普及指導員

食用イネの水管理と異なり、確実な中干しや出穂期以降の早期落水処理が適します。本水管理により収量への影響は認められず、地耐力が向上し、倒伏が軽減されます。

- ① 確実な中干しや出穂期以降の早期落水による水管理（以下、専用水管理）としても、収量（地上部乾物重）への影響は認められません（表、図）。
- ② 穂首分化期の地上部窒素吸収量が 10kg/10a であれば、その後の水管理によらず 1.3t/10a 程度の乾物実収量が期待できます。穂首分化期の生育の目安は栽植密度が 50 株/坪の場合、草丈 90cm 程度、㎡当たりの茎数 360 本程度、SPAD 値 36～38 です。
- ③ 専用水管理により地耐力が向上し、転び型倒伏の発生が抑制されます。また、収穫作業が容易になり、WCS の品質向上が期待できます。
- ④ 早期落水後、土壌表面が白っぽくなるまで乾燥が進む場合は走水を行います。

表 WCS 用イネ品種「たちすずか」向けの水管理

水管理方法	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
専用水管理	(移植:6月上旬)			中干し			中干し			(出穂期:9月上旬) 落水:出穂期以降			(黄熟期:10月上旬)		
比)食用水管理				中干し						落水:出穂後20日以降					

湛水
 間断かん水

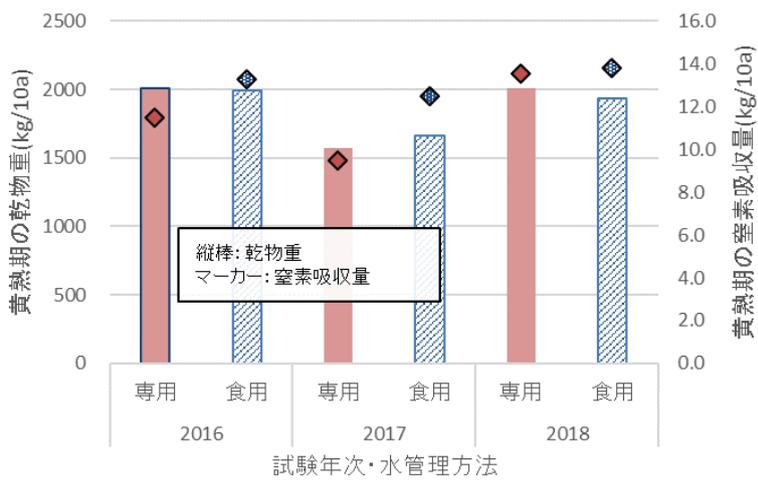


図 水管理と黄熟期の地上部乾物重および地上部窒素吸収量の関係

お問い合わせ先	伊賀農業研究室 伊賀農業研究課 中山幸則 電話 0595-37-0211 中央農業改良普及センター 山本泰也 電話 0598-42-6705
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm